

【ご挨拶】

糖尿病・甲状腺疾患・高血圧症などに関する知識とお知らせを新聞にして皆様に配布しています。皆様の病状が好転いたしますことを、心より願っております。

院長 則武 昌之



今月の特集

糖尿病の統計について

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。年頭に当たり糖尿病に関する統計をご紹介します。

(1) 1620万人が糖尿病か糖尿病予備軍です

糖尿病が強く疑われる人は約740万人、糖尿病の可能性を否定できない人は約880万人で成人の6人に1人が該当すると推定されています。また全年齢層で肥満傾向が強くなるほどこれらの人の割合が高くなることが確認されています(厚労省糖尿病実態調査 平成14年)

(2) 糖尿病の治療を受けている人は50%しかいません

糖尿病が強く疑われる人のうち治療を受けていない人が約4割で1割弱の人は治療を中断しています。残りの5割の方が現在治療を継続しているに過ぎません。継続的に医療を受けている患者数は228万人と推定されています。(厚労省糖尿病実態調査 平成14年)

(3) 世界の糖尿病患者数は?

糖尿病患者を世界で見ると、現在の患者数は2億3000万人で成人の6%に相当します。さらに今後20年間で3億5000万人に増えると予想されています。また糖尿病予備軍(IGT)の患者数も現在3億人で、20年後には5億人近くまで増えると予想されています。また1型糖尿病患者数は世界で約43万人と推定されています。(IDF国際糖尿病連合統計)

(4) 糖尿病関連の医療費

平成14年度国民医療費は31.1兆円、このうち糖尿病関連の医療費は1.8兆円を占めています。健康診断時に血糖値の異常が見つかった人の10年後の医療費は「異常なし」だった人の1.7倍になり、糖尿病の合併症がある患者とない患者では5年後に医療費が10万円以上差が出るということがわかっています。(医療経済研究機構 報告書)

(5) 糖尿病合併症の頻度

糖尿病腎症で透析を導入された患者数は平成16年で1万3000人弱で、腎臓障害は治療中の患者のうち15%でした。また末梢神経障害は16%、網膜症は13%、壊疽は1.6%にみられました。(医療経済研究機構 報告書)

(6) その他にこんな統計もあります

- ・日本では成人男性の3割以上がウェスト85cm以上で内臓肥満が疑われる
- ・喫煙者の方が2型糖尿病になるリスクが1.3倍～2.6倍高くなる
- ・ウォーキングの習慣のある糖尿病患者では死亡率が低下する。1週間で2時間以上歩くと死亡率は39%低下し、1週間に3-4時間歩く人が最も死亡率が低い
- ・外食が多い子供は血圧やコレステロール値が高く、インスリン感受性が低下して糖尿病を発症しやすくなる
- ・糖尿病がある人では糖尿病でない人に比べて結核の発症率が4-5倍に増加する

健康に関するニュース

■ 糖尿病学会が糖尿病に関連する空腹時血糖の基準を見直し!

日本糖尿病学会は空腹時血糖値の正常値を110未満から100未満に引き下げること検討していることを明らかにしました。世界的には空腹時血糖100未満を正常としているところが多く来年度末には変更されそうです。メタボリックシンドロームや糖尿病予備軍の患者数がまた増えそうです。

■ 2030年にはエイズによる死亡が世界の死因で3位に!

WHOの研究グループは2030年の世界の死亡原因のうちトップは心筋梗塞で13.4%、脳卒中が10.6%で3位にはエイズが8.9%を占めるようになると発表しました。

■ 禁煙による体重増加は事実無根

「禁煙すると太るので」を口実にしてなかなか禁煙しない人にはちょっと耳の痛い話です。ジェファーソン医科大学の研究で、禁煙した場合と喫煙を継続した場合を比べても長期的にみると体重の変化はみられないことが明らかになりました。



休診のお知らせ

●2/24の午後は学会参加のため休診とさせていただきます

●3/18～3/22は改装のため休診とさせていただきます

ご注意ください。

1月							2月							
S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S	
	1	2	3	4	5	6						1	2	3
	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
	28	29	30	31				25	26	27	28			